

令和5年12月8日

# 産業厚生委員会

阿久根市議会



1 会議名 産業厚生委員会

2 日時 令和5年12月8日(金)

午前9時59分開会

午前11時49分散会

3 場所 第2委員会室

4 出席委員

竹之内 和 満 委員長、大 野 雅 子 副委員長、白 石 純 一 委 員、  
大 田 基 次 委 員、竹 原 信 一 委 員、牟 田 学 委 員、  
濱 田 洋 一 委 員

5 事務局職員

事務局長 牟 田 昇

6 説明員

商 工 観 光 課 長 宮 下 雅 行 君  
商工観光課長補佐兼観光推進係長 船 蔵 真 一 君

7 会議に付した事件

- (1) 議案第69号 にぎわい交流館阿久根駅の指定管理者の指定について
- (2) 議案第70号 阿久根大島公園の指定管理者の指定について

8 議事の経過概要 別紙のとおり



## 審査の経過概要

### 竹之内和満委員長

一昨日に引き続き産業厚生委員会を開会いたします。

一昨日の委員会において請求しました資料は、ペーパーレス会議システムの本委員会のフォルダー内に掲載してあります。本日の会議から閲覧していただけますので、御確認をお願いします。

資料確認のため、暫時休憩します。

（休憩 午前10時～午前10時3分）

### ○ 議案第69号 にぎわい交流館阿久根駅の指定管理者の指定について

### ○ 議案第70号 阿久根大島公園の指定管理者の指定について

### 竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

議案69号と70号に関しては一括して審査に入ります。

商工観光課は入室してください。

〔商工観光課入室〕

〔宮下商工観光課長「委員長、この際、発言をお願いしたいのですが」と呼ぶ〕

### 宮下商工観光課長

一昨日、委員の皆様方から資料請求をいただきまして、その際、私のほうからすぐに対応できると回答したところございました。しかしですね、ちょっと開示できる部分だったりとか、そうでない部分の調整にちょっと時間がかかってしまいまして、本来、昨日開催でありました産業厚生委員会につきまして、本日への延期を委員の皆様方をお願いをし、そうしていただいたというような形になってしまいました。

本来、本日の委員会等の予定はなくですね、もう当然、別の御用もあった委員の方もいらっしゃるかと伺っております。このようなことになってしまいまして、誠に申し訳ございませんでした。

### 白石純一委員

今の件ですけど、もちろん資料が多くて大変なのは分かるんですけども、この委員会審査、2日の間に資料請求があることは、予想もでき、今までの指定管理の審査では、多分漏れなく資料提供していただいておりますので、今回も十分予想できたと思うんですけども。したがって準備ができていれば、すぐに対応できてたと思うんですが、それが準備ができていなかったということなんでしょうか。

### 宮下商工観光課長

おっしゃるとおりで想定をしておりまして、事前にというところもあったんですけども、やはり最終的に出すといったような段階で、先ほど申し上げたとおり開示できるもの、それらの調整に時間がかかってしまったというところで、またちょっとこれも踏まえてですね、次回も準備をきちんとしていきたいと思っております。

〔白石純一委員「お願いします」と呼ぶ〕

## 竹之内和満委員長

どうぞお座りください。

69号と70号、両方についてちょっと概略を説明していただければと思います。

## 宮下商工観光課長

資料の御説明を。

〔牟田学委員「全部は長くなるから。この資料はこういう、これはこうと、それでいいと思いますよ」と呼ぶ〕

指定管理者の募集要項等につきましては、もうそのとおりの形で、基本的にはもう前回と同様な形で募集しているというような状況でございます。阿久根駅のほうにつきましては、一応、1社、株式会社あくねやから応募がございまして、事業計画書につきましても皆様方にも配付しておりますとおりでございます。

中身としては、いろいろ書いてあるんですけども、まず、事業計画の中の別表第2号様式ですね。事業計画書は3番施設管理、ここで人員の配置計画だったりとか、そういったところがおおむね書いてあります。

次のページで、2年間の自主計画っていうところで、年間通じて自主事業をこういった形でやっていくというような計画となっております。(2)のほうでサービスを向上させるための方策といったようなところで記載がございまして。

次ページ以降がですね、(3)で利用者等の要望の把握及び実現策でありますとか、トラブルの未然防止策、対処方法といったような形で記載がございまして。あくねやにつきましては前回から引き続きというような形なので、濱田委員からもちょっと御質問がありました。特段、何かしら苦情だったりとか、そういったことも出ておりませんで、引き続き適切な管理をお願いしたいなと思っております。

にぎわい交流館阿久根駅のほうは簡単なんですけど、以上のような形になってます。

次、阿久根大島のほうなんですけれども、一応、申請いただいた事業者2社がございました。ちょっと順番が、最初、事業計画書が基本事項のところは黒塗りになっている事業者さん、御覧になってますかね、皆さん。なってますかね。こちらのほうが今回採択されなかったほうの事業計画でございまして。

先ほど同様、3の施設の管理のところは職員の配置計画ですとか、4番の施設の運営というところで年間の実施計画、こういったことをするというようなことが書いてございます。こちらが不採択だったほうの事業者のほうですね。

もう1社、日本水泳振興会のほうの事業計画書になります。結構ボリュームが多くてあれなんですけれども。具体的には、29ページから、年間の自主事業計画ですとか、ちょっとボリュームーなんですけれども記載がございまして。今現在やってるところとかも含めて記載がございまして。

例えば33ページとかでは、今後、市民団体と企画をしたコラボレーションの取組もやっていくっていうような予定も示されているところです。

39ページ、40ページについては、利用者のニーズに合わせたサービスの提供ということで記載がございまして。

40ページの⑤のところについては、例えば、1日1組限定で貸切り利用とかそういった取組もできればなというところで提案いただいたところでございました。

44ページのほうは、非常に広い島ですので施設も様々ありますので定期的な清掃の実施

ですとか、その前の43ページはごみの適正処理ですとか、そういったところが書いてある状況でございます。

すいません、以上、非常に簡単ではございますが、以上が計画書等の中身になっております。よろしくお願ひします。

#### 竹之内和満委員長

委員の方から今の説明に対して御質問ございませんでしょうか。

#### 竹原信一委員

阿久根大島の件について、この募集要項の中の69ページ、積算根拠。この中に、例えば、賃金、作業員シーズンオフの間は2人とか、あるいは印刷製本、細かく金額を分けてやったりしとるわけですけれども、この、こういうお金の使い方をしなければいけないという意味なんですかね。

#### 宮下商工観光課長

この前の補正予算の予算委員会の時もお答えしたんですけれども、これはあくまでも積算根拠でございます。阿久根大島の管理運営するために、どういう形で必要かという積算の見積りでございますので、この金額を基に、どういった金額の使い方をするのかっていうのは、当然、指定管理者のほうで、そこは裁量があるというような形でございます。

#### 竹原信一委員

そうするとですね、総額だけがポイントなんですね、これは。中身は割り振りは向こうがすることであって、この中身について、例えば、パンフレットの印刷費の経費が上がったから上げるとか、あるいは、そこまでの説明が、何だっけ、人件費が上がったからとかというような話。それは、何だ、市役所の臨時職員、つまり何だっけ任用職員。それに沿った形で人件費を上げて計算をし直しましたっていう話だったんだけど、そこっていうのはさ、おかしいんじゃないかなあ。

#### 宮下商工観光課長

これにつきましては、あくまでもどういった形で積算をしていったかというところでございます。ですので、人件費につきましても5年前はおそらく賃金職員という形だったと思うんですけれども、そこを算定根拠とした。ただ今回につきましては臨時職員じゃなくて、会計年度任用職員になってますので、そこを基に、あくまでも積算根拠が変わります。

積算根拠する対象が変わった賃金職員に変わったっていうところなので、そこを踏まえて算定しているというところなんです。

#### 竹原信一委員

どうもよく分かんないんですよ。今回上げた数字は、その金額でしょ、人件費。元の金額、どこどこがどんなふうに変ったから、そんなふうな上げることになったのかっていうのを数字、計算書が見たいな。分からないでしょ、その説明じゃ。

#### 竹之内和満委員長

休憩に入ります。

(休憩 午前10時15分～午前10時23分)

#### 竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

ほかに御質問ございませんでしょうか。

#### 白石純一委員

事業者Aの事業計画書、ほとんど黒塗りなんですけれども。団体所在地、鹿児島県阿久根市になってるんですが、この前の本会議でお伺いしたときは、2社とも市外か県外業者とおっしゃってたんですが、こちらは、本店は県外、市外だけど、事業所が阿久根市にあるということで阿久根市とされてるんでしょうかね。

#### 宮下商工観光課長

おっしゃるとおりです。

〔白石純一委員「分かりました」と呼ぶ〕

#### 竹原信一委員

阿久根駅の話ですけれども、あくねやですけれども、チラシとか。

〔「何ページ」と呼ぶ者あり〕

積算根拠のところの中に。あれ、ポスターとか何とかってあったのはあれどこだったっけ。

〔「大島のほう」と呼ぶ者あり〕

大島のほうに。こっちにはないんですね。その手のやつは。

#### 竹之内和満委員長

よろしいですか。

#### 竹原信一委員

フローリングワックスとか何とかいろいろありますけど、こういうのは、点検、作業を作業について点検、確認をするんです。

〔発言する者あり〕

積算根拠、これ、にぎわい交流館の阿久根駅指定管理基準。にぎわい交流館阿久根駅指定管理料基準額積算根拠。

#### 濱田洋一委員

委員長、提案ですが、今、一括報告をいただいて、審査しているわけなんですけれども、69号もしくは70どちらから進めるということでされたほうが。そうでないと、この2つの議案の質疑をしないといけないので、我々もですけれども、執行部自体もなかなか答弁に困るということがあると思うんですが。

#### 竹之内和満委員長

ちょっと休憩に入ります。

(休憩 午前10時26分～午前10時27分)

#### 竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

ある程度の説明していただきましたが、どうしても資料読む時間が必要ですので、資料確認のため、暫時休憩いたします。

(休憩 午前10時27分～午前10時37分)



## ○ 議案第69号 にぎわい交流館阿久根駅の指定管理者の指定について

### 竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

質疑ございませんでしょうか。議案第69号、阿久根駅のほうです。

### 白石純一委員

過去5年間、苦情はなかったということでしたけれども、まるっきりそのお客さんの不満がゼロということではないと思うんですよね。もちろん、お客さんが満足されることも多いでしょうけれども。そうしたときに私は前回の指定管理のときもちょっと申し上げたんですけれども、市として、これは他の自治体でやってるところもあるんですが、市がその施設の利用者に利用満足度調査を行って、それによって、この事業者はお客さんの満足ある程度得ているんだなということを基に実績評価をするという手法をとられている自治体があるんですけれども、そういったことは今までやっていないのか。あるいはこれからそういったことをやる計画はないのか教えてください。

### 宮下商工観光課長

委員からありましたような取組は今のところしていないところでございます。ただ、やはり、サービス向上だったりとか、にぎわいを創出していくための施設でございますので、お客様の御意見だったりとか、そこにつきましては非常に重要な部分でございますので、指定管理者と連携とりながら、そういう取組ができないかというところで検討していきたいと思っております。

### 白石純一委員

そういった場合にですね、実は、その事業者アンケートをとってもらおうと、その信頼性はどうしてもやはり、担保されない可能性があるんで、それは市が主導するべきだと思いますので、その点は御留意いただければと思います。

### 竹原信一委員

そもそも、阿久根駅周辺、阿久根駅を起点としてですね、交流が広がったり繁栄が起こったりってことを狙って始めたはずなんですけれども、阿久根駅だけが一応税金を投入することによって運営が続けられている。周りはもうどんどんさびれていってしまってる。この交流館を運営することによって、経費を見たときですよ。経費をこれだけかけて続けていくことにどういう成果といいますかね、見合うだけの成果は起こってはいないんじゃないかと私は思っております。この評価、それから今後の発展の方向っていうかな、発展というかな、その成果をより拡大するっていう意味で、どんなふうに考えてます、これ。むしろ寂れていく一方じゃないかなあ、今の状況は。

### 宮下商工観光課長

阿久根駅につきましては、人々の集いと交流促進によるにぎわいの創出ですとか、観光振興、特産品等の情報発信・活用とか、そういったところを目的に設置しているものでございます。指定管理者においても、これまで売店の運営だったりとか、当然、阿久根の特産品を生かしたメニューのレストランでの提供ですとか、観光案内、あとは、にぎわい創出のために定期的にジャズイベントとか、そういったところを実施しているというようなところですよ。

そのほかにも、市内の団体が、講演会とかの企画をやったりとか、映画上映会をしたりとか、そういったところで活用されているとことでもあります。当然、日常的にも学生の

憩いの場になってるといふようなところもございます。こういった阿久根駅のにぎわいを創出するような機能を最大限発揮するために、我々も指定管理者と連携しながら、もうちょっと積極的にイベントを展開だったりとか、そういうところがないかなとか。あと、指定管理者選定委員会のほうでもですね、やっぱり地元の方の発表の場だったりとか、そういったところで使えたらいいねという御意見もありましたので、そういったところを含めてさまざまな形で活用できるように進んでいきたいと思っております。

#### 竹原信一委員

あそこ、喫茶店みたいな感じの入り口だったりする。あそこはWi-Fiは使えるようになってるんですか。

#### 宮下商工観光課長

使えます。

#### 竹原信一委員

今、レストランありますよね。どうもその、もっと発展的というかな、結構高いという感じはするんですよ。学生なんかはぱっと来て、御飯食べていこうかという感じではないですよ。

〔「自主事業だから」と呼ぶ者あり〕

自主事業だからといったってだから、何て言いましょうか。もっとお客さんを増やそうかという、自主的な努力をしやすい、あるいはしにくい環境にはなってないですかということなんです。例えば、お店をする人たちは、よく表にも貼ったりするじゃないですか、今日は何がありますよみたいな、外側にね。そういったものはできないようにしてあるんでしょうかね。

どうもその範囲だけが自主事業ですよというふうにしちゃったら、その駅の場合、今、からあげ定食、何とかあれですよみたいなことを出したりするじゃないですか、ねえ。お客さんをお呼びと努力したりする。そういったことはできないようになってるんじゃないかな。どうなんですかね。そういうことできるんですか。

#### 宮下商工観光課長

ロータリーの部分になるので、通行を妨げるとかにならなければ、恐らくやってもいいとは思いますが。ただ、入り口のところでランチメニューだったりとか、ケーキはこんなのあるよとかというのは今までやってはいるので。

〔竹原信一委員「入口のところ」と呼ぶ〕

駅の外側じゃなくて、食堂の入り口ですね。ではやっていますけど。

#### 竹原信一委員

どうもね、遠慮がちに見えるんですよ、商売のやり方として。それが阿久根市の監視下、管理下にあるというような気分でおられるんだとしたら、そこはちょっと、自由にできる環境をつくってというかな、認識というか。阿久根市のほう市役所のほうがもっと積極的にやっていますよということを出すべきかもしれない。

#### 白石純一委員

私はですね、阿久根駅が新しくなる前と後を比べますと、もう駅のにぎわい、特に子供たちが集っている風景というのは以前は全くと言っていいほどなかったわけですから、そういう意味では、大きな成果。それこそ、阿久根駅は子供たちにとって、今第3の居場所にもなっていると思うんですね。今までは当然なかったジャズライブ、それ以外のライブ、

よくダンスの方のお披露目とか、撮影とか、あるいは結婚式の前撮りなんかも行われています。今までの阿久根駅ではまず絶対考えられないことですよね。

そして阿久根駅ができたことで、それと呼応して今、角に観光案内所もございます。その隣には、ある議員の事務所もあるようです。さらにその前にはコーヒーショップ、そして阿久根駅から港に向かう途中には、以前はなかったカフェですね、カフェができておりますし、さらに浜通りを左折すると、そこにもコーヒー焙煎所があり、その前にはまた新しい民泊施設も今建設されようとしております。

したがって、私はよく阿久根駅を利用するんですけども、やっぱり改装以前に比べるとはるかにその周辺は、人は集っていると思います。

したがって、私は、この阿久根駅そしてこの事業者の方々の努力は一定程度評価するものです。

そこでお伺いします。

今回の選定委員の方々はどういう方か教えてください。

そして点数も教えてください。

〔宮下商工観光課長「休憩していただいてよろしいですか」と呼ぶ〕

#### 竹之内和満委員長

暫時休憩いたします。

(休憩 午前10時47分～午前10時49分)

#### 竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

#### 宮下商工観光課長

合計得点が455点でございました。項目がですね、7項目ございますが、それぞれの項目の合計を申し上げます。まず、1点目、本施設を管理運営する適正があるかという項目につきましては74点。2点目、管理運営を行うに当たっての経営方針は優れているかということが44点。3点目、管理運営に必要な職員の採用・配置の計画は妥当かが69点。4点目、利用者へのサービス向上のための対策は妥当かが109点。5番目、個人情報等のところにつきましては合計68点、6点目の施設に係る経費の縮減が図られているか、これが46点。最後、その他のこれまでの管理運営状況というところなんですけれども、ここが45点で、合計で455点となっております。

#### 白石純一委員

配点掛ける6をすればその項目の満点が分かるわけですよね。念のために言ってもらっていいですか、1番から。74点は何点中ですか。

#### 宮下商工観光課長

1項目めが90点満点、2項目めが60点満点、3項目めが90点満点、4項目めが150点満点、5項目めが90点、6項目め、7項目めが60点満点。

#### 白石純一委員

全体で600点満点中455点ということで。最低、クリアしなきゃいけない点数というのは何点でしたっけ。

#### 宮下商工観光課長

6割の360点になります。

**白石純一委員**

ちなみに5年前、この事業者が採択され、選ばれたときの点数って分かりますか。

〔発言する者あり〕

**竹之内和満委員長**

後ほど、お聞きしますかね。

はい、ほかにございますでしょうか。

**竹原信一委員**

阿久根駅とその前やら中やらでイベントをしたいとかいうようなときには、どこに連絡をして対応するんですかね。

**宮下商工観光課長**

指定管理者のほうになります

**竹原信一委員**

指定管理者側から、商工観光課などに何かをしたいというようなときに、許可をもらうとか、そういったことというのは何かあるんですか。

**宮下商工観光課長**

それにつきましては特段ございません。

**竹原信一委員**

全くない。

〔宮下商工観光課長「はい」と呼ぶ〕

**白石純一委員**

この阿久根駅の指定管理募集について、この事業者以外に問合せ等はありませんでしたでしょうか。

**宮下商工観光課長**

問い合わせはなかったところでした。

**白石純一委員**

これは、議会等でも一般質問等でされた議員がいらっしゃいますけど、朝は6時開錠、夜は9時施錠で、特に冬場が朝6時前等に通学の子供たちが外で待つのは寒いんじゃないかというような意見もありましたけども、これはもう6時が一番早くてこの時間だということでもよろしいですか。検討等は特にされていないということですか。

**船蔵商工観光課長補佐兼観光推進係長**

条例上は、駅の開場時間は午前7時から午後9時までとなっているところです。ただ、現状、営業としましては、今、委員もおっしゃった通学生の対応、そういったものがあって、開場時間の前までは横の通路を通らないといけないということがありましたので、そこについては指定管理者と話をしまして、指定管理者も午前7時から開場するに当たって準備期間等もございまして、それよりも前に出勤をしております。そこで、6時、早い時間からかぎを開けていただくという対応をさせていただいております。

**竹之内和満委員長**

はい、ほかにございませんでしょか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので所管課への質疑を終了し、議案第69号の審査を一時中止します。

〔商工観光課退室〕  
暫時休憩いたします。

(休憩 午前10時56分～午前11時5分)

## ○ 議案第70号 阿久根大島公園の指定管理者の指定について

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

商工観光課は入室してください。

〔商工観光課入室〕

次に、議案第70号を議題とし審査に入ります。

それでは先ほど説明をいただきましたので、早速質疑に入りたいと思います。

何か質疑ございませんでしょうか。

白石純一委員

最初に、ではその2社の比較の点数を教えてください。

船蔵商工観光課長補佐兼観光推進係長

まず初めに、株式会社日本水泳振興会の点数を申し上げます。総得点が600点満点中455点。各項目ごとの点数ですが、本施設を管理運営する適正があるかというところが90点中75点。2番目の管理運営を行うに当たっての経営方針を全て優れているかが60点中44点。管理運営に必要な職員の採用・配置の計画は妥当かが90点中68点。利用者へのサービス向上のための対策は妥当か150点中111点。5番目の個人情報保護及び防犯・防災等緊急時の対応計画は妥当か90点中70点。6項目め、施設に係る経費の縮減が図られるか60点中42点。その他の項目で、質問に対する答え方と特殊要件というところで、他の公募団体と比較して特に優れたところなどという部分で60点中45点。合計455点になります。

もう、一団体につきまして申し上げます。こちらが600点満点中309点。各項目ごとの点数ですが、1項目め、本施設を管理運営する適性があるか90点中47点。2項目め、管理運営を行うに当たっての経営方針がすぐれているのか60点中28点。3項目め、管理運営に必要な職員の採用・配置の計画は妥当か90点中42点。4項目め、利用者へのサービス向上のための対策は妥当か150点中84点。5項目め、個人情報保護及び防犯防災等緊急時の対応計画は妥当か90点中44点、6項目め、施設に係る経費の縮減が図られるが60点中34点。その他、先ほど同様の項目で60点中30点、合計309点となります。

白石純一委員

はい、分かりました。かなり点数は差があるわけですがけれどもこのA社ですかね、については、同様の施設の指定管理の実績はないということでしょうか。

宮下商工観光課長

はい、ないところでございます。

白石純一委員

質問は変わるんですけども、課題として、阿久根大島については夏場だけではなく、冬は厳しいでしょうけど、春秋の3シーズン。夏以外の集客も課題だということだとは思いますが、最近の取組としてその辺りは、この事業者とあるいは市が共同して何か取られていることが効果が上がってますでしょうか。

### 船蔵商工観光課長補佐兼観光推進係長

まず、指定管理者におきましては、昨今のキャンプブームといったものを捉えて、自社でテントを用意して、春秋シーズン、夏も含めてですけれども、デイキャンプを含めキャンプのメニューをつくったというところがございます。ただ、それでお客さんを実際に受入れてというところまでは至っていないというところで、今シーズンにおきましてはどうしても台風があって、週末にそれがちょうどかかってしまって。予約はあったんですけどもキャンセルになってしまったという事実がありました。

### 竹原信一委員

鹿の餌なんかやっとなるって話です。餌代はどのくらいかかっているんですか。鹿の数とか、大体増えているのか、減っているのか、そういった点もちょっと教えてください。

### 船蔵商工観光課長補佐兼観光推進係長

まず、鹿の頭数と言いますか、厳密な数字は何頭なんですけれども、大体100頭程度います。餌につきましては、積算根拠のほうで示しておりますけれども、30万円程度を計上しております。

[竹原信一委員「年間」と呼ぶ]

年間です。一部、例えば農家さんとかそういった方が市場では出回らないような野菜とか、そういったものを提供してくださる方もいらっしゃいますので、そういったものも餌として活用していると。無償で提供していただいているので、そういったものを活用している状況です。

### 竹原信一委員

阿久根大島のお客さんの人数、その推移というか、増減、そこら辺も教えてください。

### 宮下商工観光課長

海水浴シーズンの人数でございますが、ちょっと今年は少なくてですね、こちら4,631人。令和4年が6,689人。令和3年が7,953人ございました。これにつきましては先ほど課長補佐からありましたとおり、今年度は、少し船の欠航率が高かったというような状況がございますが、それでも今年はですね、1日当たりの来島者数がちょっと少なかったというような状況になってます。

### 濱田洋一委員

先ほど、白石委員のからもあったんですけども、やはり通年通しての阿久根大島の活用を図ることが市の方針としてもあります。そういった中におきまして、先ほど執行部から、今年については天候不良等もあり、イベントを企画していたけれどもできない部分もあったということで、まさに天候が影響しますけれども、やはりいろんな企画というのもそれぞれ執行部のほうから、また、指定管理を受けた方からですね、いろんなそういった協議をその都度定期的にまたやっていただいて、やはり、交流人口の増加であるとか、観光客を呼び込む、そういう企画をやっていただきたいと思います。

一つは要望ですけれども、特に、これまではコロナということもありまして、2類から5類に移行された中でですよ、人の動きというのが活発化してまいりますので、やはりそういう波に乗り遅れないように取組をしていただければと思います。

ですから、7～8月のシーズン、その中でも何かイベントをまた企画したり、そうでない春・秋のシーズン、このときも何かできるものはないだろうかということを常に指定管理者とのやりとりをしていただいて、早め早めに手を打っていただきたい、そのように

思います。どうでしょうか。

#### 宮下商工観光課長

委員のおっしゃるとおりでございます。通年観光というか、シーズンオフの期間を含めて、指定管理者のほうからは、散策イベントだったりとか、あとは先ほどのデイキャンプとか、テントサウナとか、そういった提案もございました。当然、我々も、市役所としてもせつかくの観光資源でございますので、そこを利用してくださる方が1人でも増えるようにさまざまな仕掛けをしたりとか、あるいはPRも含めて、しっかりと指定管理者と連携しながら、取り組んでまいりたいと考えております。

#### 白石純一委員

今の濱田委員とも非常に密接なことなんですけれども、資料の指定管理者議事概要の2ページ目の③申請団体によるプレゼンテーション実施、ア、株式会社日本水泳振興会。発言内容の下から5～6行目ぐらい、またその上ですね。また海開きの際の広報などを積極に行ってほしい。阿久根大島がこんなに良いところで、まして鹿がいることを知らない人が多い。誘客PRについては総力戦で行ってほしいという発言がございました。

水泳振興会さんのほうはSNS等でかなり私もPRを目にすることが多いんですけども、市としてまだPRが十分だと、私は、ではないと思ってるところがあります。ぜひ、この事業者と一緒にですね、阿久根大島をさらに市外の方、特に阿久根大島というのはかつては熊本県からの集客が非常に多かったんですね。したがって、やっぱりターゲットを絞って、例えば水俣、八代、熊本市というような、ターゲットをしっかりと、あるいは鹿児島県であれば伊佐市というような、やはりターゲットを絞らないとPRは効果的にはできないと思いますので、その辺りを行っていただきたいと思いますが、その点いかがでしょうか。

#### 宮下商工観光課長

課内で、こちらのほうについては力を入れていかないといけないという話をしています。ちょっと不足しているかなと思っております。私も県庁から出向して来てまして、実は阿久根大島とういうのを恥ずかしながら知らなかったというのが実情でございます。そういったところもございますので、先ほど言ったような水俣市だったりとか、あと全近隣もそうでございますが鹿児島市も一つ大きなターゲットになるのかなと思いますので、そういったボリューム層にしっかりと阿久根大島のすばらしさ、こういうところがあるよということですね、PRしていきたいなと思っております。

#### 白石純一委員

おっしゃるとおりですね。実は私たちの世代以上の人は鹿児島市からもかなり以前は来られてましたが、最近はやはりなかなか来れないということもありますのでぜひPRをお願いします。

そしてもう一つ、事業者からの課題として、先ほどもございましたけど欠航する便が多かったと。したがって、昔はかなり大型船だったんですけども、今は船も小型になって、本当に欠航しなければいけないのかと思うようなときでも、欠航しているようなときも私は見受けたんですけども。ここに書いてあるように、指定管理者の業務外、別の会社、船会社ですけども、そこともう少し何か連携してですね、できるだけ欠航率を下げる工夫が必要だと思うんですが、その辺りはいかがでしょうか。

#### 宮下商工観光課長

船会社とはそういった具体の話というのがこれまでなかったのかなとは思いますが、安

全性とか、それを含めてですね、当然、欠航がなくなるというのはお客様を増やすための大きな法則の大きなところだとは思いますが、そこについては連携しながら話していきたいと思います。

#### 白石純一委員

先ほど点数のときに聞き漏れましたけれども、選考委員の方はどういう方なのか教えてください。

#### 宮下商工観光課長

休憩をお願いしていいですか。

#### 竹之内和満委員長

暫時休憩いたします。

(休憩 午前11時20分～午前11時21分)

#### 竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

ほかに御質問ございませんでしょうか。

#### 竹原信一委員

バンガローとかいろいろ建物がありますよね、施設が。そういったものというのは、ほっておくと大体表面が古びてくる、故障も起こる、ドアとか。そういういろんなものが起こるんですけど、今の状態、まず、故障とかいうか、穴があいたとかいろんなことを、修理はどんなふうな感じでやってるんですか。

#### 船蔵商工観光課長補佐兼観光推進係長

軽微な補修、修繕等につきましては指定管理者に行っていただきます。ただ、大規模な補修が必要な、例えば台風で倒木をして、その下敷きになってバンガローが破損したとかそういったもので大きな修繕が必要なものになれば市のほうで対応しております。

#### 竹原信一委員

市のほうで修繕した実績というか、実際はどうですか。

#### 船蔵商工観光課長補佐兼観光推進係長

数年前、それこそ今申し上げたような台風で倒木があって、バンガローの屋根を破損したという事例がありまして、そこに関しては、市のほうで対応したものがございました。

あと、今年度行っておりますのが、大島の発電機が2機ございますけれども、このうちの1機がもう設置から30年程度経過しておりまして、故障も増えてきておりますので、その交換、新設をしております。

#### 竹原信一委員

その建物なんかですね、日焼けして見栄えがしなくなりますよね、ほっといたら。そういったことというのは計画的にやっていかなきゃいけないじゃないですか。今、見栄えがする状態にあるんですか。

#### 船蔵商工観光課長補佐兼観光推進係長

当然に、やはり日焼け、それから、潮風による傷みとかありますので、指定管理者のほうで、例えば簡単なペンキの塗り替えとかそういったもので対応しております。ただ、余りにも経年劣化といいますか、建築から30年程度経つ施設が多いですので、そこに関しま



しては市のほうとしましても、今後計画的に除却とかそういったものを検討していきたいと考えています。

#### 竹原信一委員

傷んでしまったものを計画的にやるのではなくて、傷まないように計画は先に立てなきゃいけないのであるわけですよ。まずは、お客さんを呼ぶんだったら、どんと金使ってしっかりしたものを1回する。それから、当然に傷んでいくからそれを計画的に、常にいい状態にしていかなきゃいけない。今からいい状態にしますよ、お客さん来てくださいじゃ駄目ですよ、ね。さっさとそれはまず最初にやらな。分かってるんでしょ、ねえ。傷んでるわって。そうしないと魅力あるところにならないじゃないですか。いや、いいな、ここ使ってみたいなって思わせるためには最初やらないかん。いきなりやらないかんわけですよ。考え方をそういうふうにして、ね。早速取り組んでいただくわけにいかないでしょうか、そういうことは。

#### 宮下商工観光課長

既に建物もおおございます。確かに古びてるものもございますので、そういったところの対応も必要になってきますので、いずれしても、やはり見栄えってというのは非常に重要な、おっしゃるとおりでございますので、そこを踏まえながら対応してまいりたいなと思っております。

〔竹原信一委員「もうぜひね、そっからいかないと」と呼ぶ〕

#### 白石純一委員

先ほどの議事概要の中で、遠足で子供たちの利用はあるのかという質問があって、今は行っていないということでした。私は聞くとですね、阿久根の子供たちでも阿久根大島に行ったことがないと。小学生、中学生でも行ったことがないという子供がいてびっくりしたんですけれども、やはり、阿久根の遠足あるいは社会科見学等でですね、ぜひ子供たちにも行っていただく。それによって当然、船の収入あるいは向こうでの収入も少しは増えると思しますので、そういったことも含めて、阿久根の子供たちに阿久根大島のよさを知ってもらうような取組は。クイズラリーはやられてましたけれども、そういった遠足とか、学校として全児童が行くような試みは考えておられますでしょうか。

#### 宮下商工観光課長

その議論を課内のほうでもしてまして、やはり、学校の判断になると思うんですけれども、全ての学校に遠足での利用を働きかけたりとか、そういった地道な取組も必要かなと思っておりますので、対応してまいりたいと考えております。

#### 竹原信一委員

さっきの件に関連してだけでも、とにかく金がかかるんですよ、物を作ったら。もしかしたら作り過ぎてるかもしれない。維持しているものをきちんとして。そして、それを100%持ち続けるのは金がかかる。もしかしたら縮小しなきゃいけない、片づけなきゃいけない。そこをしっかりと仕分して、あるものはいつもちゃきつとやる。もうしないんだったらやめる。そこはもう、判断は最初で決めなきゃ。よろしくをお願いします。

#### 宮下商工観光課長

おっしゃるとおりだとは思いますが、当然もう除却が必要だよねっていう施設も目星は付けてますので、そういったところも含めて、対応してまいりたいと考えております。

〔竹原信一委員「見苦しいものを残しとっちゃいかん」と呼ぶ〕

### 竹之内和満委員長

ここで、私も質疑を行いたいので、副委員長と委員長の職を交代します。

〔「いいですよ、そこで」と呼ぶ者あり〕

〔竹原信一委員「やっちゃえ、やっちゃえ」と呼ぶ〕

それでは大野副委員長お願いします。

### 大野雅子副委員長

それでは代行します。

### 竹之内和満委員

先ほど白石委員からもありましたPRについて、誘客のための。そういう誘客のための費用というのは指定管理者が全て払うんでしょうか。

### 宮下商工観光課長

一応ですね、SNSとか使いながら、当然、自主事業の範囲の中でPRをする場合もございしますが、ただ、市も、やはり大きな観光施設でございしますので、そこは予算をかけながら市としても対応すると。そこは指定管理者と連携しながらやっていくというところですよ。

### 竹之内和満委員

この件だけではなくて、テレビスポットが阿久根はほとんどないんですよ。そういうテレビスポットを流せばですね、また大分違うかなというふうに思うんですが。ネットなんかで流しても、見る人はやっぱりある程度な少数ですから。テレビを見る人は、見られるという環境もあっていいかなって、ちょっとあっていいんじゃないかなと思うんですが。それに関しては、もしするとなったら指定管理者がするんですか。市は全く手を出さない。どうなんでしょう。

### 宮下商工観光課長

恐らくテレビスポットとなると相当な費用がかかりますので、仮にするとしたら市のほうで検討するのかなと思っております。

### 竹之内和満委員

ぜひ検討していただければ。やっぱり、なかなか客増えないんですよ。誘客はなかなか難しいですから。本当、知らない人がいるというのは、やっぱり一般的に情報を得る媒体が少ないというのもあるかと思しますので、テレビスポットも検討していただきたいというふうに思います。

以上です。

### 大野雅子副委員長

代行かわります。

### 竹之内和満委員長

それでは副委員長と交代し、委員長の職務を行います。

所管課への質疑、ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、議案第70号の審査を一時中止いたします。

所管課は退出してください。

〔商工観光課退室〕

## ○ 議案第69号 にぎわい交流館阿久根駅の指定管理者の指定について

## 竹之内和満委員長

それでは、議案第69号を議題といたします。

これまで行いました審査のほかに行いたい審査がありましたら御発言をお願いいたします。行いたい審査はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、それでは議案第69号について採決に進みます。

まず、討議ありませんか。

## 白石純一委員

応募が複数ではなく1社ということで、しかも今までずっとやってこられてる方ですので、その会社の実績等を見て判断する。そして点数も基準点はオーバーしているということなので、その辺りで判断するかなと思います。

## 竹原信一委員

とにかくこれは、採決に当たって、もうちょっとここは検討するべきじゃないかということなんでしょうか。

## 白石純一委員

いえ、審査は終わりましたので、今までの審査の中のこと、そして、実績を、ほかに比べるものがないですので、そこで判断すべきだという意見です。

## 牟田学委員

この指定管理については、私は賛成の気持ちなんですけれども、阿久根市が観光を基軸に交流人口を増やそうという施策をしている以上、先ほど白石委員からありましたように、今の阿久根駅を核として、あっちこっちいろいろ、今まで阿久根になかったような店もオープンしております。そういった感じで、やはり、昔の阿久根駅じゃなくて、今、変わって、こういう阿久根駅っていういろんな宣伝効果といたしますか。私はやはり、税金をかけてと言われる委員もいますけれども、私は、これを核にして、阿久根駅を核にして、やっぱりこれから阿久根市の活性化のために必要であると思っています。

それを、今の指定管理者が今後また続けてやるということですので、私は今の事業者の努力も大変あると思っていますので、私は賛成の立場であります。

## 竹原信一委員

まず、阿久根の人口はもう減少してきている、ね。皆さんの生活はどんどん苦しくなってきた、ね。市議会議員と職員は違いますよ、ね。一般の中心の中央値というのは230何万ぐらいしかないんですよ。厳しくなってきた。発展とか、そういうことを考える時代じゃないですよ。どうやって阿久根に今住んでる人たちの暮らしを支え切るのかと。貧しくなる一方という現状。

〔牟田学委員「これについてはどうなんですか。これに対する意見は」と呼ぶ〕

だからあなたに対して言ってるわけですよ、討議ですからね。発展のために投資するというタイミングというかな、限界をもうそろそろ感じなきゃいけないと思うんですよ。監査委員の意見書にはですね、今後より厳しい財政運営を強いられることを懸念する。あらゆる事業について徹底した見直しの必要があるとしております。夢を描いて発展をという時代じゃないです。しかし、阿久根駅あるいは阿久根大島のそれをぱっと切るわけにはいかんでしょうけれども、私たちは手を広げてしまったものを縮小して、そしてそれがしっかりしたものになる。負担をなるべく減らして、しかし実質はあるという方向へかじ

を切っていくかないかん。ほいで、役所がしたんだ、始めたんだからやれややれはよくないですよ。私たちは監視する係ですからね。

〔発言する者あり〕

そして、誘導していく係ですから、そのことを忘れちゃいかんと思っておりますけども。

〔濱田洋一委員「ちょっと休憩を入れてください」と呼ぶ〕

#### 竹之内和満委員長

暫時休憩いたします。

(休憩 午前11時35分～午前11時36分)

#### 竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

#### 白石純一委員

私は阿久根駅っていうのは、言わば公共交通の拠点でもありまして、これはもうかる、もうからないだけではなくて、公共事業としての鉄道を市民に提供するという大変公共性のある重要な役割のほうがちろ大きいんですね。収益を上げるというのは、それこそ自主事業として指定管理者の方が考えればいいことであって、まずは公共交通機関としての役割。そして、そこに附帯してにぎわい、人々が集まる、子供たちが集まる、あるいは大人が音楽を聞きに来る、あるいはよそから来た人が買物をして土産物を買って帰られる。そうしたことを波及効果として産んでいるわけです。

観光というのは、その一つの施設、その事業者だけではなくて、それを目当てに阿久根に来た人が、阿久根駅に来た人が、その近隣でも食事をと。必ずしもこの駅ではなくてですね、ほかのぶえん館によってみようかとか、すし屋によってみようかとか、イセエビ祭りによってみよう。あるいは逆にそうした方々が阿久根駅の評判を聞きつけて寄っておられる方もいらっしゃいます。土産物を買われる方もおられます。市街地で土産物を買えるのはほとんど阿久根駅ぐらいしかないわけですので、そうした観光というのは様々な面に波及がある。そしてお土産を買っていただく。あるいは阿久根駅をはじめ近隣の食堂で食事をしていただくということは、それは必ず漁業者、農業者にも利益になっているわけです。そこで雇用される人々の利益にもなっているわけです。したがって観光というのは、一つの施設をとらえてもうかっている、もかかっているだけではなくてですね、それが阿久根にどういった波及効果をもたらしているか。農業、水産業、なかなか大変な中にあるからこそですね、観光で、そうした農業、漁業も含めた総合的な波及効果を期待する、できるのが観光でありますので、この阿久根駅の事業は正当に評価されるべきだと思っております。

#### 大野雅子委員

私は賛成の立場で討議させてもらいます。阿久根駅が白石委員も言われたように、昔の阿久根駅と違って、やっぱりきれいになったことで、私の友達なんかも、それこそ福岡とか遠くから来る友達もこんな駅はないねって言って喜んでくれます。ただ、そこに来たらがまたどういう動線があるかというのが、今ちょっと問題になっているのかなあと思って、いろんな地図とか、そういうのをつくって、ここにこんな面白い店ができたよっていうのを知らせるツールは今から必要になってくると思います。阿久根の観光を基軸につて

市長がおっしゃっていらっしゃるので、ここを起点に今度歩いてどのように行けるか、車でどのように行けるか。そのような情報発信が今ちょっとそのあたりに足りないとは思いますが、阿久根駅さんは本当に、女性なんかトイレなんかを中心に考えるんですけども、きれいなトイレを使えて気持ちよく過ごせるスペース、そして、学校の帰りの高校生なんかにもよくあそこでおしゃべりしてるんですね。勉強したりもしてます、待合もしてたりします。そういう、本当に第3の場所っていうのにもなっているんじゃないかと私は感じております。阿久根市で喫茶店なんかがないという、行きやすい、昔あったジョイフルなんかもなくなってるけど、ああいうところで、本当に1杯のコーヒーを買わなくてももいいし、そこで話合いとか、交流できる場所にもなっていると思います。子供たちも来ておもちゃのところで遊んだりできていますね。ただ、その広報がちょっと足りないかなっていう気はしますが、今の管理者とても一生懸命やってらっしゃると思いますので、私はこのままこれ、今の課題をいろいろ解決する方向に動いてくだされば、また、今まで知らなかった人たちも、またこの阿久根を感じてもらえるんじゃないかと思っております。

#### 白石純一委員

ぜひですね、みんなでやはり阿久根の観光もやはり盛り上げるべきだと思いますので、議員もぜひですね、阿久根駅を利用していただいて、音楽のイベント、様々なイベントにも来ていただいて、あそこでコーヒーを飲み、食事をして、一緒に盛り上げていくようなために、今回、審査をした意義はあると思いますので、よろしくお願いします。

#### 竹原信一委員

よくあるっていうか、そういった施設をつくりました、金がかかり過ぎて維持できなくなってほうり投げるみたいな状況があちこちに起こってるわけですよ。夕張なんか特にそうですね、ね。そういったことにならないようにするためには、経費を多くかけずに、最低限の美化ね。それから、利用ができる状態というのをしっかり固めて、そしてそのほかの自主事業だの何だのというのは余裕があれば、あるいは民間がそこを使ってするという形を、本当は分けるべきだと思うんですよ。発展は人口やお客さんがつくってくれることであって、市が本当に取り組んでいくというのは、多分ね、うまくいかないと思いますよ。私たちが、今、市が、公共が守るべきものは、基本の形、ね。衛生性とか、それから、ね。交流する場をしてもいいでしょうよ。その基本の形をしっかりと守るのであって、店を、なんていうかね、発展を繁栄をつてね、もう役所が発展繁栄に取り組んだって成功した試しはほとんどないですよ。そこはね、よく考えとかないかんと思いますよ。

#### 竹之内和満委員長

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、討議を終わります。

討論に入ります。

討論ありませんか。

まず、反対討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、賛成討論ありませんか。

#### 白石純一委員

今回応募されたのが1社ですね、実績で大きな問題ないということも執行部から伝え

られました。私も個人的に使わせていただくときに非常に気持ちよく使わせていただいておりますし、何よりも子供たちを中心に、大人の方もよく打合せをされたり、勉強されたり、ある程度にぎわいは生んでるのだと思います。そこが、駅周辺にも少しずつですが、波及効果が現れているように私は見受けられます。

したがいまして、現状を頑張ってきてきた事業者の方がもう一度手を挙げられる。必ずしも利益を大きく上げてるわけではないと思いますけども、ある程度ボランティアの精神でも阿久根のために頑張っていらっしゃる事業者さんだと思いますので、私は賛成したいと思います。

#### 竹之内和満委員長

ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、討論を終結します。

それでは、議案第69号、にぎわい交流館阿久根駅の指定管理者の指定について採決します。

本案は、可決すべきものとするに御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

よって、本案は可決すべきものと決しました。

#### ○ 議案第70号 阿久根大島公園の指定管理者の指定について

##### 竹之内和満委員長

続きまして、議案第70号について採決に進みます。

まず、討議を行います。

討議ありませんか。

##### 竹原信一委員

執行部との質疑の中で、今後の方針などについて現状の確認ができましたので、より、私たちがですね、こういった形で監視する、注目することで、執行部というか担当課もどうせないかんという意識を受けてくれると思いましたので、意味があったというふうには思います。

それで、阿久根駅もそうですけれども、発展繁栄、大きく広がる。昔のバブルとかそんな時代はもう来ないですから、そこをよく分かった上で、今後、いろんなことに取り組んでいくべきだと思います。

##### 白石純一委員

竹原委員のおっしゃることも大変意義があることだと思っております。これから大きな需要は期待できないわけですから、分相応の限られた潜在的なマーケットに確実に遡及するようなPR、そして、コンテンツで行えばですね、必ずお客さんは来ていただけるものと思います。

そして、先ほども申しましたように、我々も議員であると同時に市民として、阿久根大島を訪ねてみて、私も今シーズン2回ぐらい伺いましたけれども、やはり行くと非常に癒されるし、この阿久根大島のために頑張ろうと、観光の一助になりたいという思いも強くなりますので、我々議員もぜひ出かけて阿久根大島を応援するというのを、審査の一文に置いていただければと思います。

## 竹之内和満委員長

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、討議を終わります。

次に、討論に入ります。

まずは、反対討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

賛成討論はありませんか。

## 白石純一委員

今回2社の応募があつてですね、1社は実績を積み重ねてこられて、ここも我々が知る範囲限り、この5年間大きな問題は起こされてないと思います。最近、私が行った経験でも、いい管理をされているというふうに印象を受けました。一方で、もう1社のほうですね。審査を見ますとかなり点数が低いようです。基準点も満たしてもいないようです。したがって、これはこの設定された事業者を選定することに私は賛成でございます。

## 竹之内和満委員長

ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、討論を終結いたします。

それでは、議案第70号、阿久根大島公園の指定管理者の指定について採決します。

本案は、可決すべきものとするに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

よって、本案は可決すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託され会期内に審議すべき案件は全て議了しました。

本日採決されました案件に対する委員会審査報告書の作成及び委員長報告並びに議会だより原稿の作成につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で産業厚生委員会を散会いたします。

(散会 午前11時49分)

産業厚生委員会委員長 竹之内 和 満